

令和4年度 裾野市市民意識調査報告書

【概要版】

I 調査の概要

1 調査目的

裾野市民の市政に対する認識や要望、市民生活に関する意識を調査し、その結果を分析して、市政運営や施策立案に反映させ、現状の市の取組を検証するために実施しました。

2 調査方法

- ・調査地域：裾野市全域
- ・調査対象：裾野市在住の20歳以上の男女1,000人
- ・調査方法：無作為抽出による郵送配布、郵送回収またはインターネット回収
- ・調査期間：令和5年1月12日（木）～令和5年1月31日（火）

3 回収状況

発送数	有効回答数	有効回収率（昨年度調査）
1,000票	586票（うちインターネット回答182票）	58.6%（56.5%）

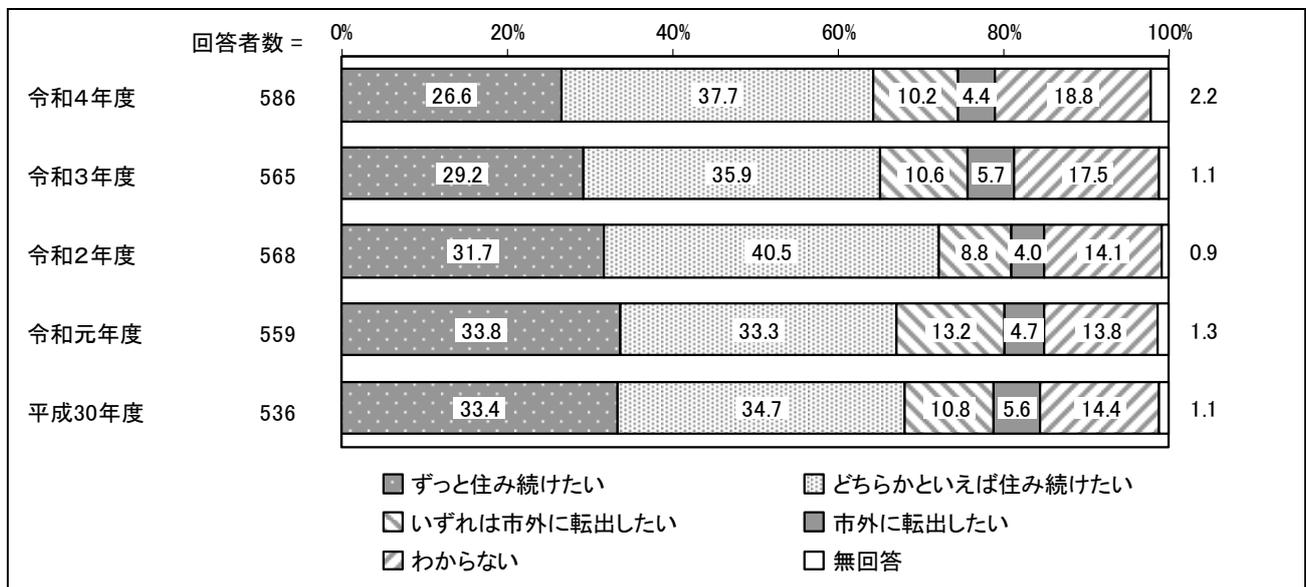
II 調査結果

（1）裾野市の市政全般について

設問 あなたはこれからも裾野市に住み続けたいと思いますか。

「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」をあわせた“住み続けたい”の割合が64.3%、「いずれは市外に転出したい」と「市外に転出したい」をあわせた“転出したい”の割合が14.6%、「わからない」の割合が18.8%となっています。

令和3年度と比較すると、大きな変化はみられません。



設問 裾野市が行っている取組や生活環境についてどのように感じていますか。

裾野市が行っている取組や裾野市の生活環境など全 37 項目を客観的に評価する分析手法として、満足度・重要度に関する回答をそれぞれ得点化し、比較しました。

満足度・重要度の各選択肢の得点は下表に示す通りです。なお、無回答は算定外としました。

満足度の各回答の得点

回答	点数
満足	2点
まあ満足	1点
普通	0点
やや不満	-1点
不満	-2点

重要度の各回答の得点

回答	点数
重要	2点
まあ重要	1点
普通	0点
やや重要でない	-1点
重要でない	-2点

上記の通り得点化した回答を、それぞれの選択回答者数による加重平均により、算出しました。

◎満足度・重要度の高い項目上位5項目

最も満足度が高かったのは、「救急医療体制の充実」の0.44点となっています。

最も重要度が高かったのは、「地震・水害などへの防災対策」の1.19点となっています。

満足度		
順位	項目名	得点
1	救急医療体制の充実	0.44
2	地域全体で子どもの成長を見守る環境	0.39
3	良質な水道水の安定供給	0.37
4	安全・安心で快適な住環境	0.35
5	障がい者への支援	0.34

重要度		
順位	項目名	得点
1	地震・水害などへの防災対策	1.19
2	市職員に対する信頼度	0.96
3	小・中学生の「学力の向上」や「人間の育成」を目指す教育	0.94
	良質な水道水の安定供給	0.94
5	安全・安心で快適な住環境	0.93

※37項目中、満足度・重要度の高い項目上位5項目を掲載

◎満足度・重要度の点数差が大きい項目上位5項目

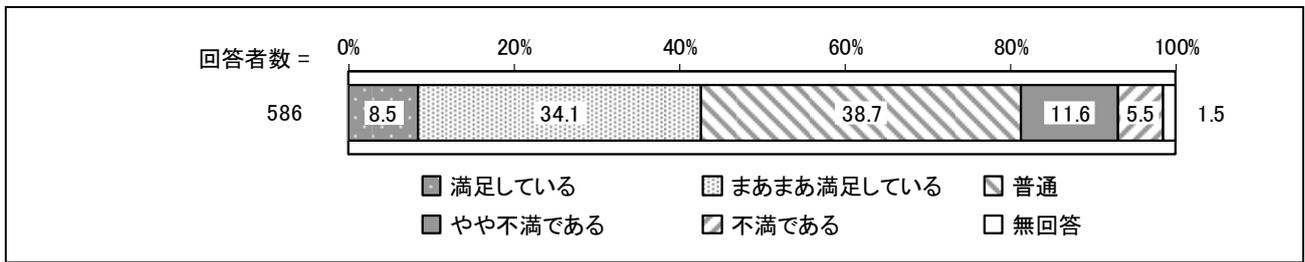
最も満足度と重要度の点数差が大きかったのは、「バス路線や便数」の-1.3点となっています。

現状の満足度・重要度の点数差が大きい項目				
順位	項目名	満足度	重要度	点数差(※)
1	バス路線や便数	-0.65	0.65	-1.30
2	地震・水害などへの防災対策	0.02	1.19	-1.17
3	市職員に対する信頼度	-0.18	0.96	-1.14
4	公共施設等の計画的な管理	-0.24	0.80	-1.04
5	市街地・駅周辺部での快適な暮らし	-0.41	0.62	-1.03

※点数差＝(満足度-重要度)。満足度と重要度の点数差を求めることで、満足度が低く重要度が高い、今後の重点課題として検討すべき項目を数値化したもの。

(2) 生活の満足度について

「満足している」と「まあまあ満足している」をあわせた“満足している”の割合が 42.6%、「やや不満である」と「不満である」をあわせた“不満である”の割合が 17.1%となっています。



(3) 裾野駅周辺に必要なものについて

裾野駅周辺に必要なものについて

生活利便性向上のための必要な店舗について、加重平均により得点化しました。各順位の得点は下表の通りとし、項目ごとに合計点を有効回答者数（無回答を含む）などで除した加重平均点を算出しました。

生活利便性向上のための必要な店舗

回答	点数
1位	3点
2位	2点
3位	1点

◎生活利便性向上のための必要な店舗の順位

生活利便性向上のための必要な店舗について最も得点が高かったのは「ファストフード・レストラン」の36.8点で、以下「スーパー・ドラッグストア」が27.4点、「本屋・図書スペース」が23.3点、「衣料品・雑貨店」が20.1点、「カフェ」が19.9点と続いています。

生活利便性向上のための必要な店舗		
順位	項目名	得点
1位	ファストフード・レストラン	36.8
2位	スーパー・ドラッグストア	27.4
3位	本屋・図書スペース	23.3
4位	衣料品・雑貨店	20.1
5位	カフェ	19.9
6位	コンビニエンスストア	17.2
7位	子育て支援施設	10.5
8位	社会福祉施設	9.1
9位	金融機関	8.9
10位	自習、パソコン利用スペース	4.3

令和4年度市民意識調査報告書【概要版】

発行年月 令和5年(2023年)3月
発行 裾野市 戦略推進課
〒410-1192 静岡県裾野市佐野1059
電話：055-995-1804(直通) FAX：055-995-1861